

明石市所在

明石公園リノベーション事業に伴う

明石公園遺跡
確認調査実績報告書

令和 2 年 度

兵庫県教育委員会

- 1 遺 跡 名 明石公園遺跡
- 2 所 在 地 明石市明石公園
- 3 開発事業名 明石公園リノベーション事業
- 4 事業者名 兵庫県県土整備部 まちづくり局公園緑地課
- 5 調査主体 兵庫県教育委員会
- 6 調査担当者 兵庫県立考古博物館 総務部 埋蔵文化財課 鐵 英記、永恵裕和、渡瀬健太
- 7 調査の種類 確認調査
- 8 調査期間 令和2年8月24～27日、9月1～4日 (実働8日間)
- 9 調査面積 80 m²
- 10 調査に至る経過

県土整備部まちづくり局公園緑地課と東播磨県民局加古川土木事務所明石街づくり対策室は明石公園のリノベーション事業を検討している。事業対象地である明石公園は史跡明石城と埋蔵文化財包蔵地明石公園遺跡を共に含むため、事業計画の策定にあたり史跡隣接部の状況を確認する必要があるが生じた。

そのため、公園緑地課からの依頼（令和2年6月26日付け 公第1100号）により、明石公園遺跡の史跡に隣接する3箇所を確認調査を実施した。ただし、掘削箇所の制限が遺構面の有無を主眼として調査を実施した。

11 調査の方法

今回の確認調査は球技場（自転車競技場）、千畳芝、陸上競技場の3地区にトレンチを設定し、平爪のバックホーならびに人力により掘削し、土層の堆積状況と遺構・遺物の有無を確認した。

12 調査の結果

球技場（自転車競技場）地区

絵図では堀が存在する箇所に当たる。2×5mのトレンチを2箇所設定した。1T・2Tとも競技場造成に伴う盛土が約30cm検出され、その下ににぶい黄褐色細砂層が存在する。この層の上面が遺構面で、不整形の土坑や柱穴状の遺構が検出された。遺構の埋土は褐灰色細砂で、瓦片が出土した。

千畳芝地区

埋没した谷が存在することが予想された地区である。谷に直行するように2×5mのトレンチを東西に2箇所設定した。1T・2Tとも、芝生広場造成のための土の下には礫を含む砂を主体とする堆積層が複数存在している。わずかな土師器片が出土したものの、遺構は検出されておらず、現在の剛ノ池に関連する谷が埋まっているものと考えられる。

陸上競技場地区

絵図によれば、庭園があった地区となる。2×5mのトレンチを4箇所設定した。

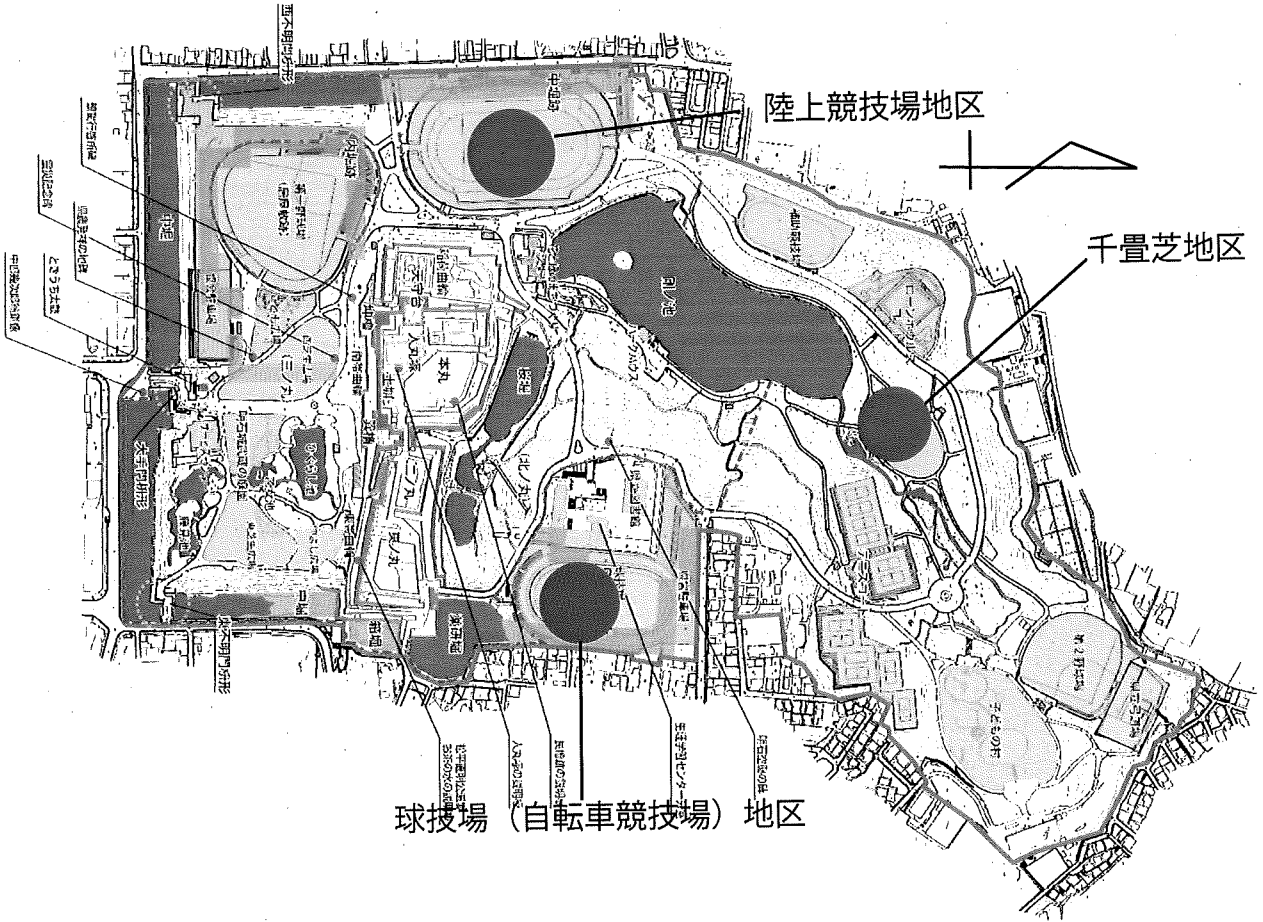
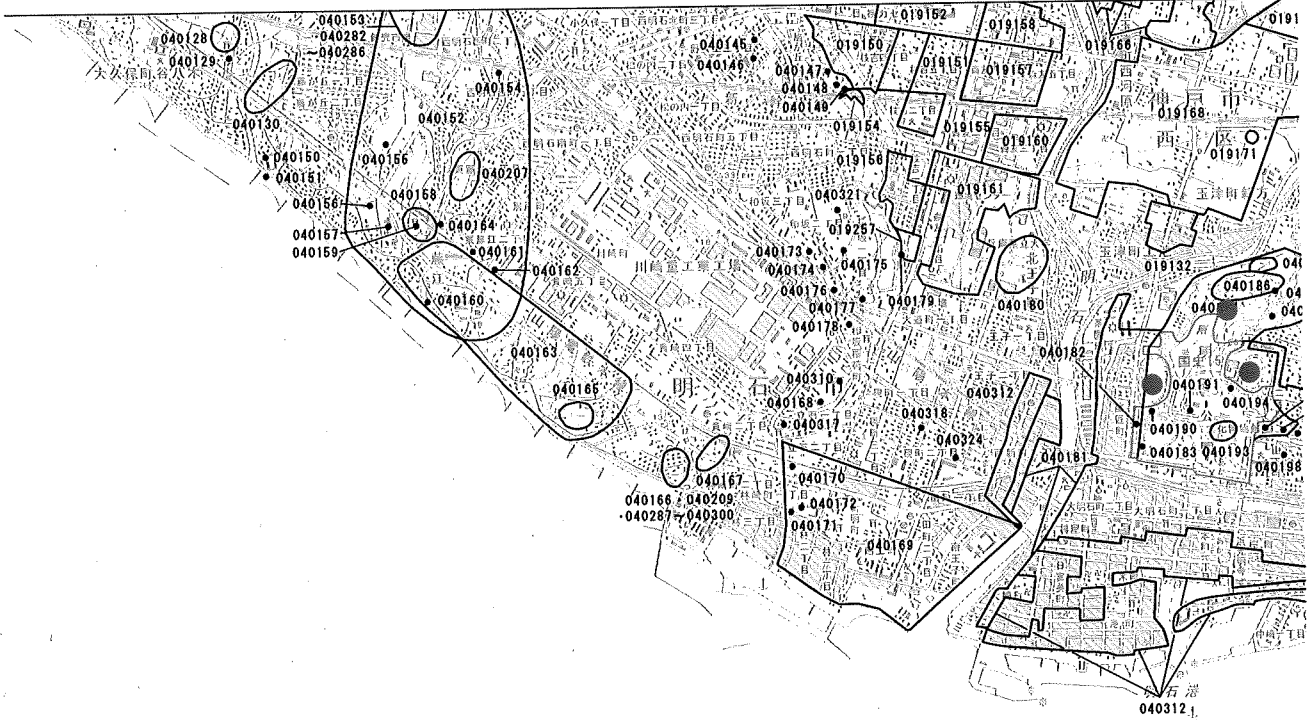
各トレンチとも、上部に50cm弱のグラウンド造成に伴う盛土が認められる。1Tでは粘性の強い黄灰色極細砂～シルトが東に向かって落ち込んでおり、池の埋土ではないかと考えられる。2Tでも1Tで池の埋土ではないかとした堆積が続いている。3Tと4Tでは造成土の直下で、柱穴や溝状の遺構が検出されている。

13 まとめ

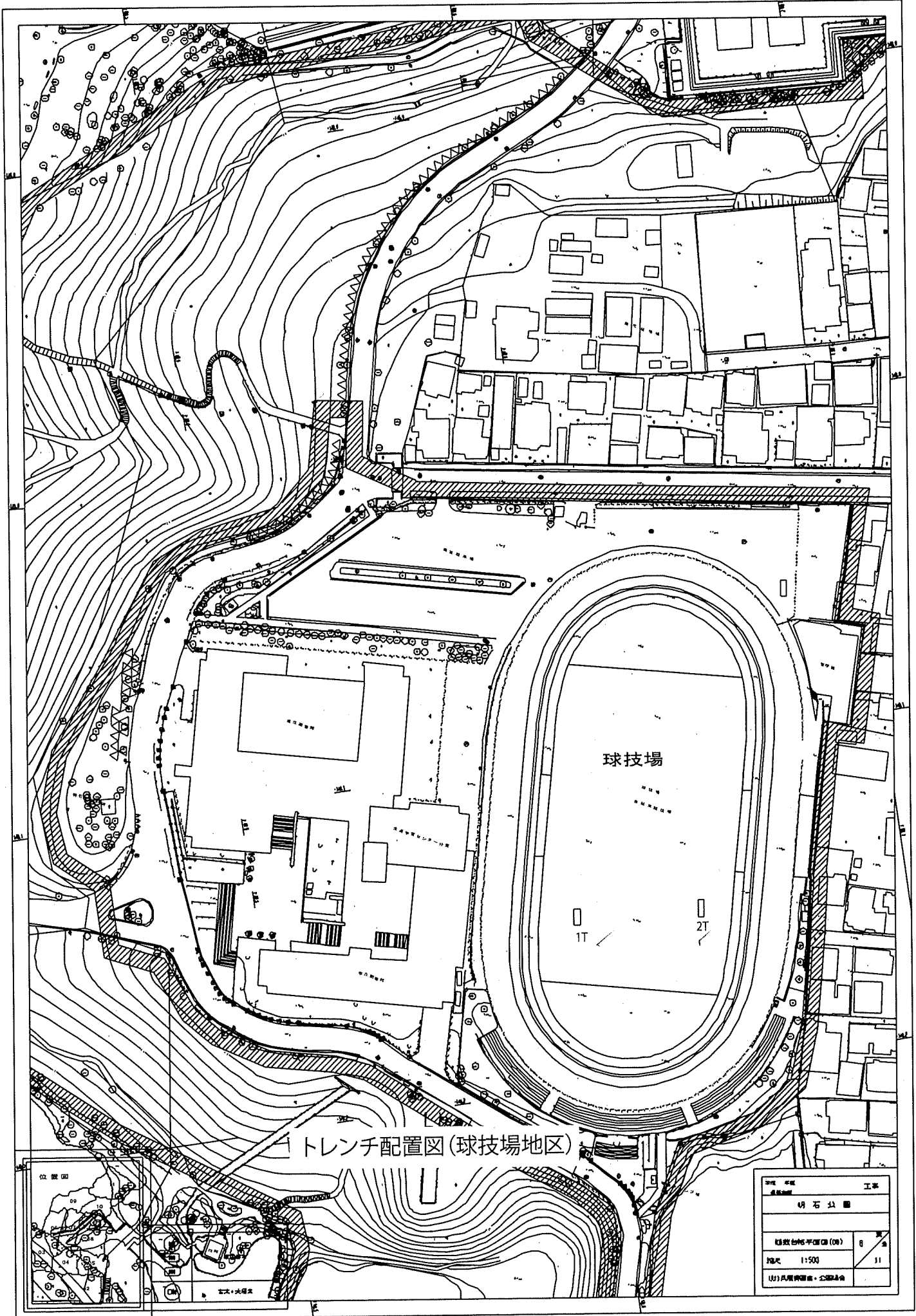
球技場（自転車競技場）地区と陸上競技場地区では江戸時代に遡ると考えられる遺構面を検出することができた。トレンチ設定の制約から前者では薬研堀を検出することは出来なかった。ただ、後者では1Tで池を埋めた可能性のある堆積層があり、他のトレンチにおいても近世と考えられる遺構が見つまっている。遺構面が確認された事から、この両地区については、江戸時代の遺構が残存している可能性が高い。

これに対して、千畳芝地区においては、河川由来の砂礫層を主体とした堆積が認められ、遺構も見つかっていないことから、剛ノ池に向かう谷にあたり、江戸時代のものも含め、埋蔵文化財が存在する可能性は低い。

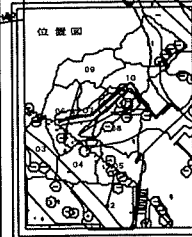
位置図 (S=1/35,000) 兵庫県遺跡地図 (図幅名: 明石)



調査地点図 (任意スケール)

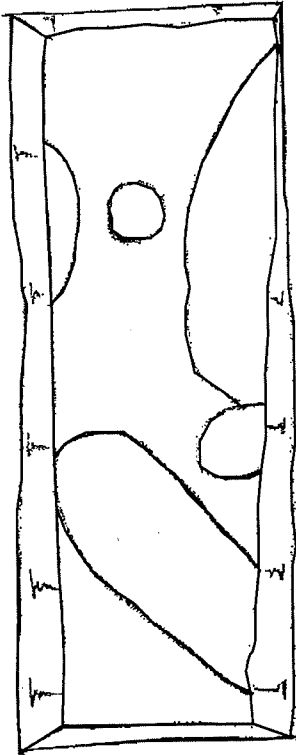


トレンチ配置図(球技場地区)



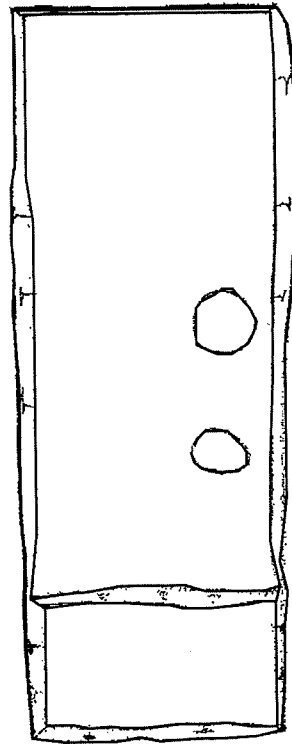
図名	工事
設計者	明石公園
設計台帳平簿(冊)	8
縮尺	1:500
(社) 凡用務部	全図巻

1T
北

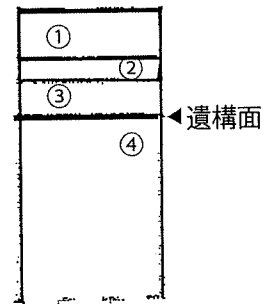
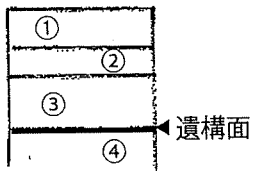
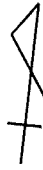


南

2T
北



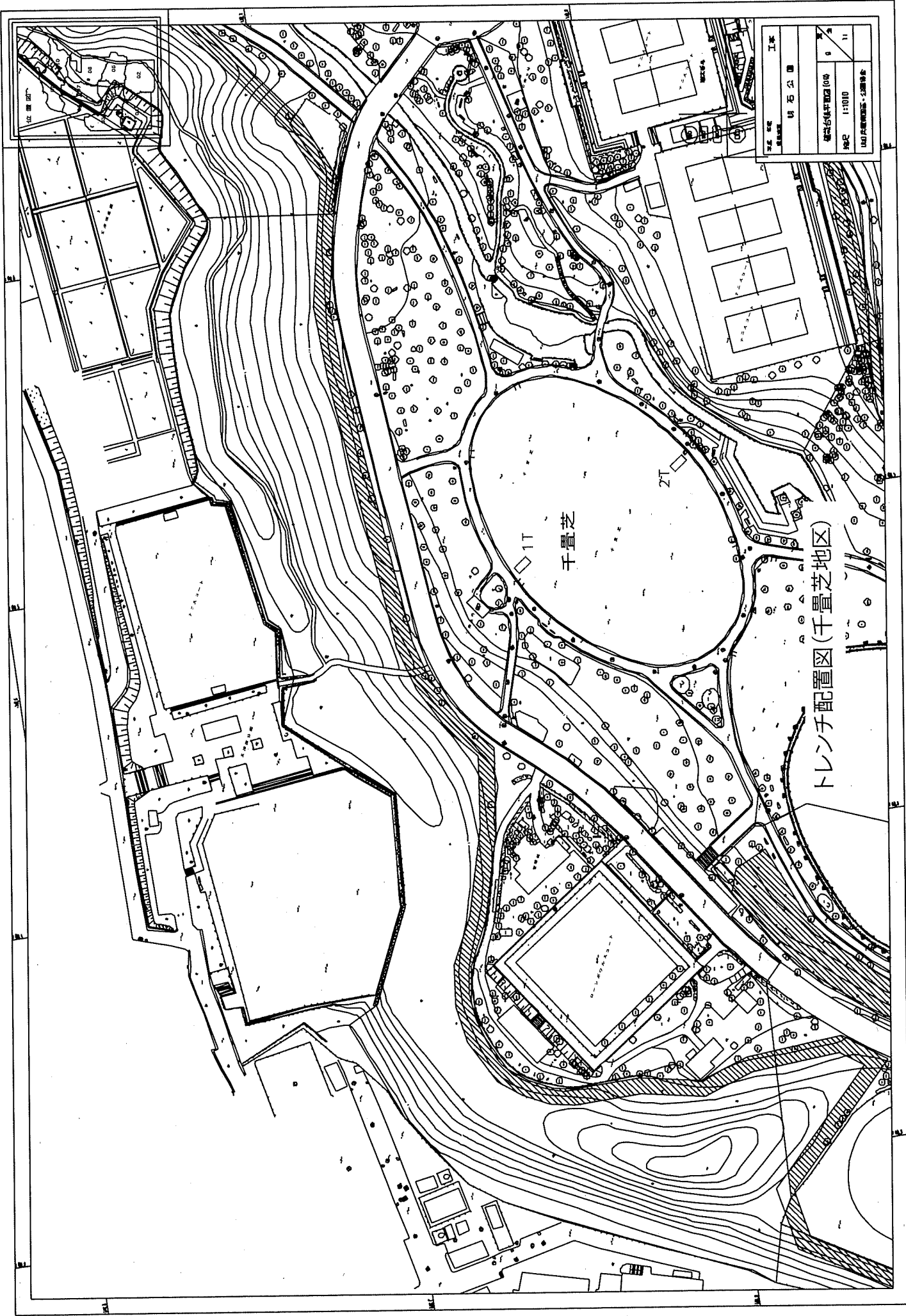
南



- 1T・2T共通
- ① にぶい黄褐色 粗砂混じり極細砂
 - ② 灰白色 粗砂・細砂混じり小礫
 - ③ 明黄灰色 粗砂・小礫混じり細砂
 - ④ にぶい黄橙色 礫を含む細砂

球技場(自転車競技場)地区

平面図(S=1/50) 断面柱状図(S=1/20)



トレンチ配置図(千畳芝地区)

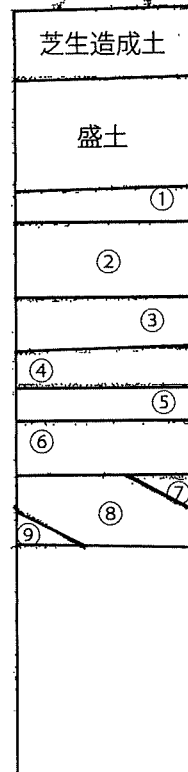
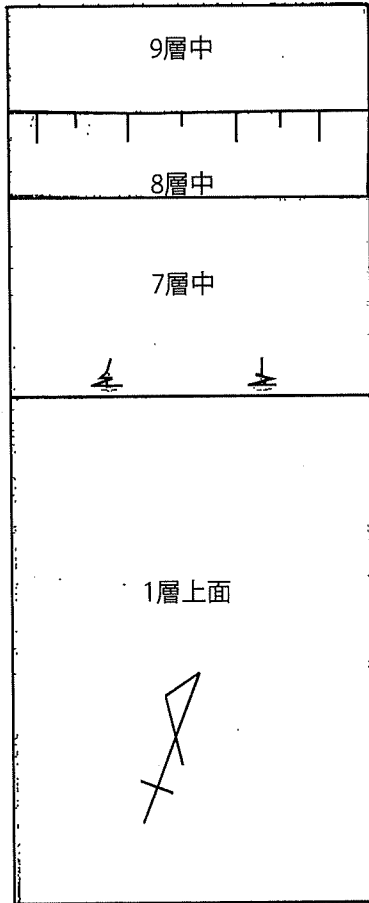
工事	公園
設計者	株式会社 〇〇〇
縮尺	1:1000
図面番号	11

千畳芝

1T

2T

1T

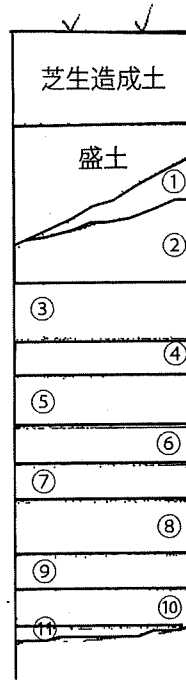
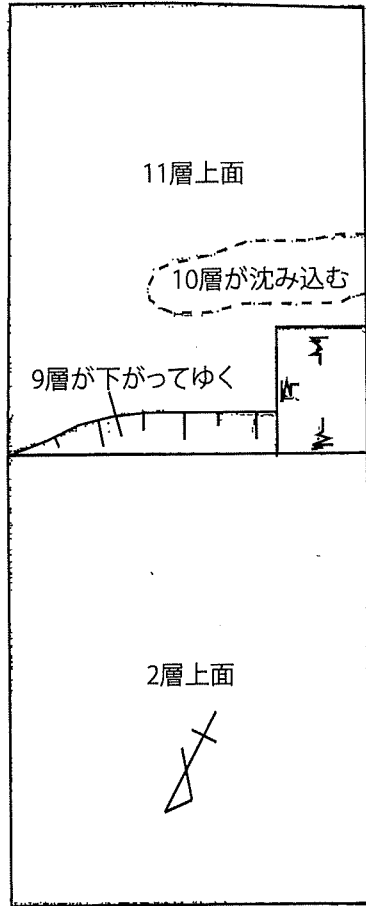


- ① 灰色 シルト～極細砂
径1～5cm大の円礫多く含む、土師器片わずかに含む(2Tの②層に対応)
- ② 褐灰色 細砂～粗砂
径1～5cm大の円礫多く含む
- ③ 灰色 極細砂
- ④ 灰色 粗砂～極粗砂
径1～5cm大の円礫含む(河川堆積)
- ⑤ 灰色 シルト混じり極細砂～中砂
下面に径5cm大の円礫含む
- ⑥ 暗灰色 粗砂混じりシルト～極細砂
- ⑦ 黒灰色 シルト～極細砂
径1～3cm大の円礫多く含む
- ⑧ 黄灰色 粗砂～極粗砂
径1～10cm大の円礫多く含む
- ⑨ 黒灰色 シルト

千畳芝地区 1

平面図(S=1/50) 断面柱状図(S=1/20)

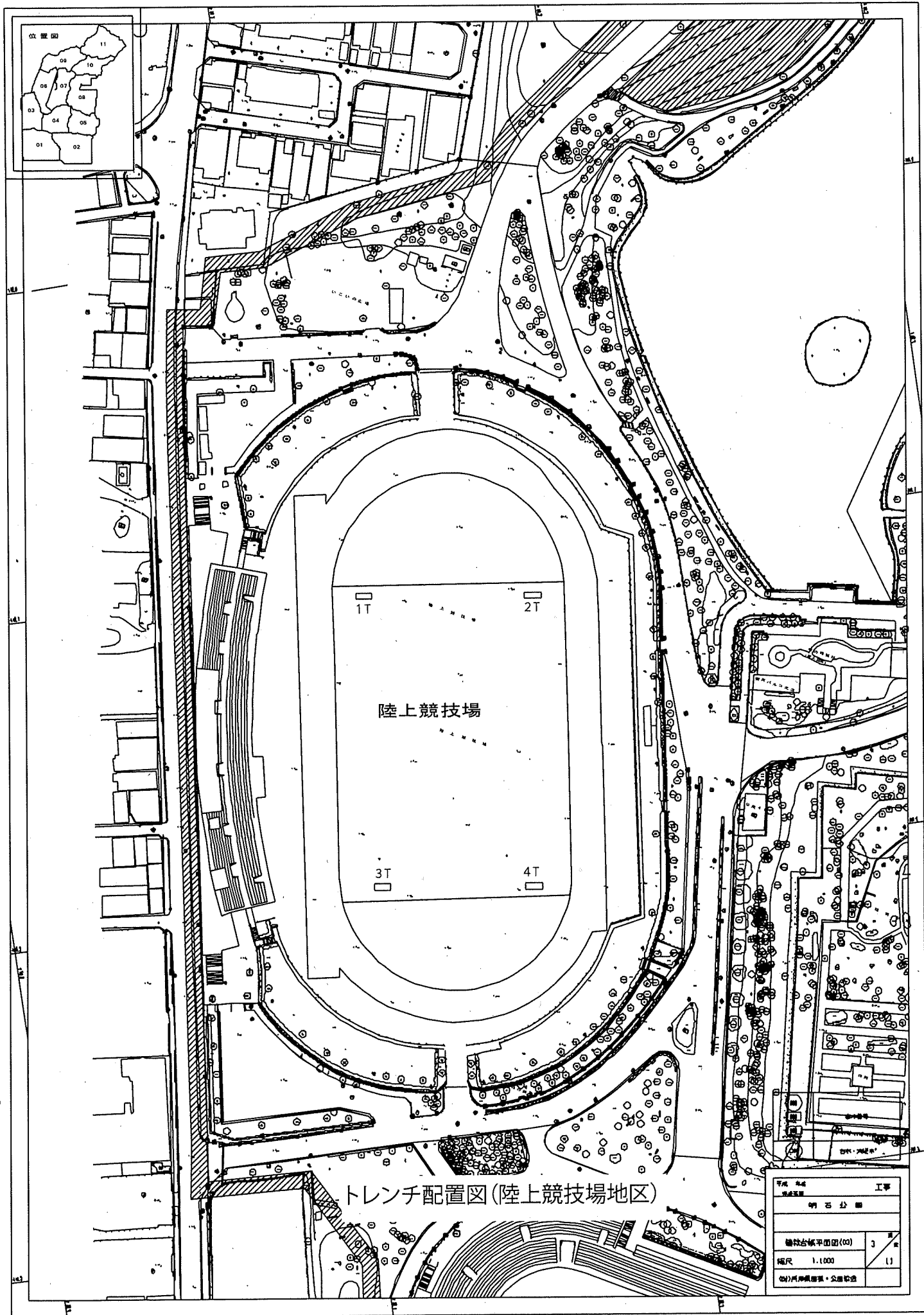
2T



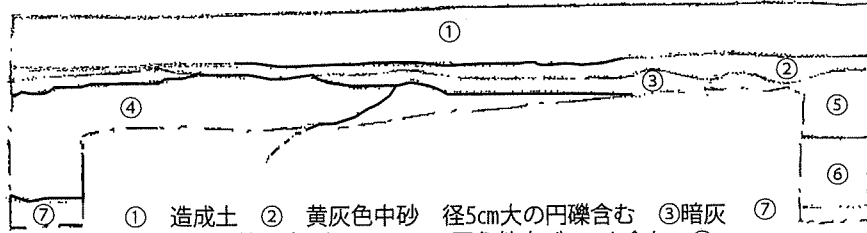
- ① 褐灰色 極細砂～中砂
- ② 灰色 シルト～極細砂
径1～5cm大の円礫多く含む、土師器片わずかに含む(1Tの①層に対応)
- ③ 黄灰色 極細砂混じり細砂～中砂
径1～5cm大の円礫多く含む
- ④ 灰色 シルト 上面に酸化第2鉄沈着
- ⑤ 灰色 細砂～粗砂 径1cm大の円礫含む
- ⑥ 灰色 シルト混じり中砂～極粗砂
- ⑦ 暗灰色 細砂～中砂 径1～5cm大の円礫含む
- ⑧ 褐灰色 シルト混じり粗砂～極粗砂
細礫～5cm大の円礫非常に多く含む
- ⑨ 灰色 極細砂～細砂 炭化物わずかに含む
- ⑩ 灰色 中砂～極粗砂
細礫～1cm大の円礫非常に多く含む
- ⑪ 青灰色 シルト～極細砂

千畳芝地区2

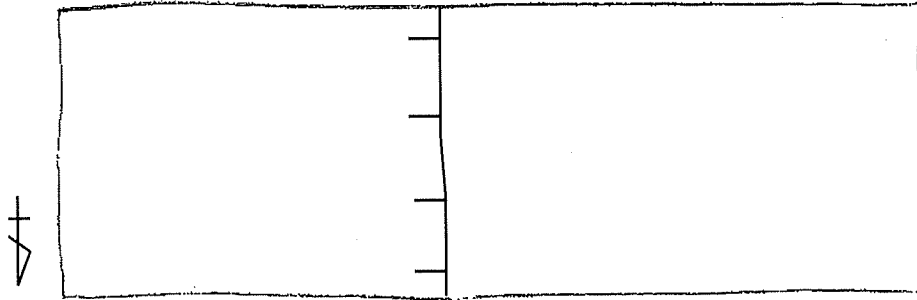
平面図(S=1/50) 断面柱状図(S=1/20)



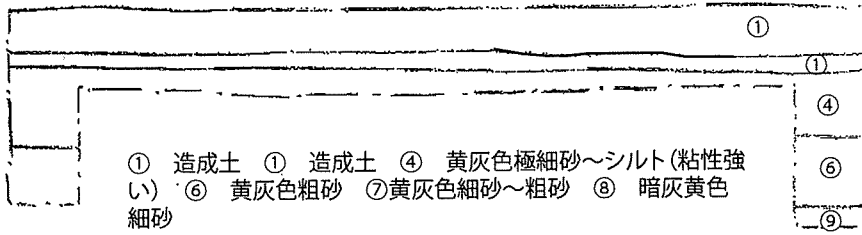
1T



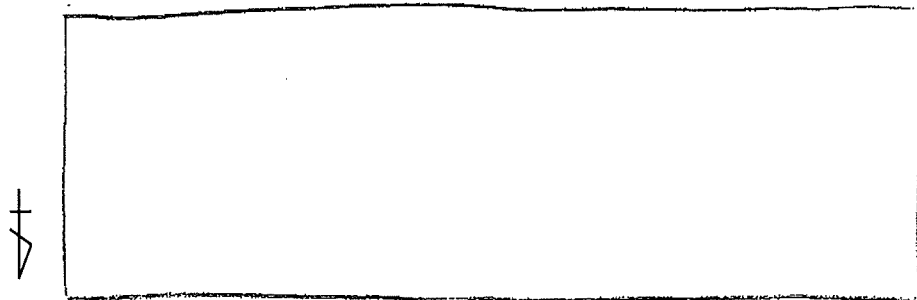
① 造成土 ② 黄灰色中砂 径5cm大の円礫含む ③ 暗灰黄色シルト質細砂 径5~10cmの同色粘土ブロック含む ④ 黄灰色極細砂~シルト(粘性強い) ⑤ 黒褐色粗砂~中砂 径5cmの礫多く含む ⑥ 黄灰色粗砂 ⑦ 黄灰色細砂~粗砂



2T



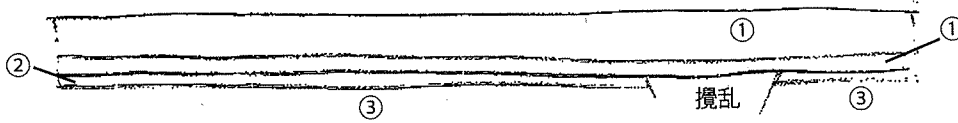
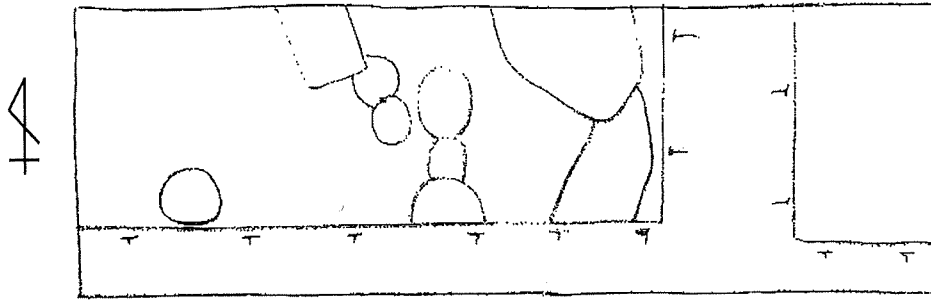
① 造成土 ① 造成土 ④ 黄灰色極細砂~シルト(粘性強い) ⑥ 黄灰色粗砂 ⑦ 黄灰色細砂~粗砂 ⑧ 暗灰黄色細砂



陸上競技場地区 1

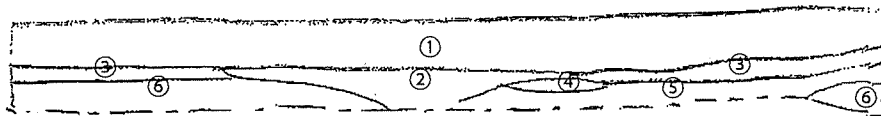
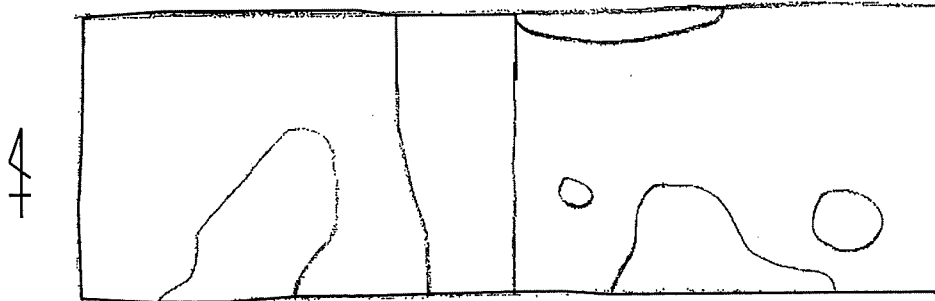
平面図・断面図(S=1/50)

4T



- ① 造成土 ① 造成土 ② 明褐色 極細砂 (堅く締まる)
- ③ 褐色極細砂 径10cm大の垂角礫含む：遺構面
- ③層の下ににぶい黄褐色中砂～粗砂層が堆積

3T



- ① 造成土 ② 褐灰色 細砂 (堅く締まり、径10cm大の垂円礫を含む)
- ③ 暗灰黄色 極細砂 (5cm大の粘土ブロック含む)
- ④ オリーブ褐色細砂 (炭片、土器片含む) ⑤ 暗灰黄色粗砂～中砂
- ⑥ 暗灰黄色 細砂 (堅く締まる)

陸上競技場地区 2

平面図・断面図 (S=1/50)

球技場（自転車競技場）
地区 調査前 北から



球技場（自転車競技場）
地区 1T 北から



球技場（自転車競技場）
地区 1T南壁 北から





球技場（自転車競技場）
地区 2T 南から



球技場（自転車競技場）
地区 2T南壁 北から



千畳芝地区
調査前 南から

千畳芝地区
1T 南東から



千畳芝地区
1T 断面 南西から



千畳芝地区
2T 南西から





千畳芝地区
2T 南東から



陸上競技場地区
1T 北東から



陸上競技場地区
1T 南壁 北から

陸上競技場地区
2T 北東から



陸上競技場地区
2T 南壁 北から



陸上競技場地区
3T 西から





陸上競技場地区
3T南壁 北から



陸上競技場地区
4T 北東から



陸上競技場地区
4T南壁 北から

調査風景
機械掘削



調査風景
人力掘削



調査風景
埋め戻し

